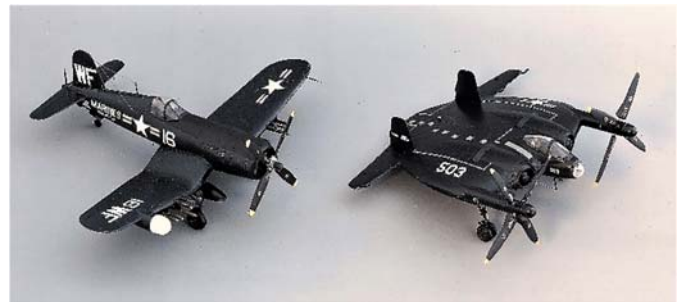


～チャンスポート F4U-5N コルセア



[チャンスポート社の次作 XF5U と ↑]

本機は、朝鮮戦争で使用された、米国海軍の夜間戦闘機です。F4Uの原型XF4Uの初飛行は1940年で、ジェット機がすでに登場していた1950年～1953年の朝鮮戦争まで現役であったというのは凄いことです。逆ガルの主翼という個性的な形状を有する同機ですが、-5タイプの特徴は何といっても断面オムスピ型の機首です。これはコクピットを胴体後方に置いたために、そこから前方に長く伸びる機首によって操縦者の視界が制限されるというF4U独特の問題点を解決するためのデザインでした。このコルセアの欠点はチャンスポート社のトラウマになったのではないかと思います。次作XF5U～F-8やA-7はすべてそのコクピットを機首先端に位置させています。この-5タイプは、過給機用の補助インテークをリスの両頬のように配置して正面三角形にし、機首側面の平らな削ぎ落しをキャノピー直前まで連続させてます。初期タイプが単純な円形の断面形状に比べて大幅な改良点です。操縦者にとって如何に前下方視界を確保することが大切かということを教えてくれるデザインです。

【模型について】

オーストラリアのハイプレーンズ(High-planes)製1/72の簡易インジェクションキットです。パーツ合わせの甘さなど、作りづらいつつながら、現在、上述の-5機首形状を再現した唯一のキットで、貴重な存在です。(中川裕幸 2021年2月・2022年4月改定)